



— 第6回 —

人物紹介

湘南合同法律事務所

弁護士 太田啓子さん

離婚・相続の家事事件のスペシャリスト！

国際基督教大学を卒業し、24歳のときに司法試験に合格した弁護士の太田啓子さん。2015年に横浜の法律事務所から藤沢に移り、現在、藤沢駅北口にある「湘南合同法律事務所」に在籍されています。取り扱い案件は、おもに離婚・相続などの家事事件や労働問題、セクシャルハラスメント、性被害などの民事事件など。太田さんは、中2と小5の男の子を持つシングルマザーでもあります。「約8割が離婚案件で、毎週のように家裁(家庭裁判所)に出かけています。私自身離婚経験者で、子育て中の女性弁護士だからかもしれません。また、法律事務所は、東京や横浜に集中していますが、弁護士が少ない地域こそニーズがあると実感しています」。

弁護士になったきっかけを伺うと「フェミニスト志向の強い家庭で育ったわけでも、取り立てて強い意志があったわけでもないのですが、小学生の時に感じたことはあります」。それは、性差別や性暴力について。「女子の体操服のブルマーに違和感を覚えたり、性的な尊厳を雑に扱われたことに抵抗をもつ敏感な子ではありました」と太田さん。

「朝まで生テレビ」「ハートネットTV」の出演や「AERA」で小島慶子氏との対談など、新聞・雑誌・TVなどに出演し話題に。多数出版されていますが、なかでも『これからの男の子たちへ「男らしさ」から自由になるためのレッスン』(大月書店、2020年8月)は、発行されるや話題となり、現在なんと11刷り。台湾と韓国で翻訳され、中国でも翻訳予定です。「私が担当する離婚やセクハラ案件では、性差別についてつくづく考えさせられることが多いんです。問題が起こる原因のひとつは、対等な関係性を築けないことと社会の同調圧力に抗う勇気が足りないこと。性別問わず人権教育としての性教育が必要で、性差別については男の子も当事者だという意識を伝えたい、そんな思いでこの本を書きました」。

本が広まることでさらに多忙な日々を送っている太田さん。「多感な時期の子育てで、育児に専念したい気持ちもありますが、私は自分の長所を生かしている気がする今の仕事が好きなんです。これからも、藤沢を中心に悩める方の一助になれるよう活動を続けていきたいと思います」



◀「これからの男の子たちへ「男らしさ」から自由になるためのレッスン」(大月書店、2020年8月)。韓国、台湾で翻訳本も。「根本には性別問わず無自覚な性差別があります。それを自覚できるように大人が子どもにどう伝えられるか考えたい」(太田さん)



初の単著が、韓国、台湾、中国で翻訳されることになり嬉しいです！多くの人に知っていただきたい内容です！

▲2002年弁護士登録。神奈川県弁護士会所属。「子育て中でもあり、子どもに関わる事件にはつい敏感になります。法律相談は子連れでもどうぞ！」

▼大好きな癒しグッズは「ミッフィー」。趣味は水泳。「クロールで、30分1kmが目安ですが、今は時間があつたらゆっくり眠りたいです(笑)」



▲憲法についての座談会企画 (VE RY 光文社、2014年2月)。「憲法関係で女性誌に出たのは初めてで反響が大きく、その後繋がりたげられない誌面です」



◀明日の自由を守る若手弁護士の会(あすわか)メンバーとして各地で「憲法カフェ」を開催。写真は、藤沢市内のバーで開催された「お父さんのための憲法カフェ」

▶自治体や教職員団体からの要請で、著書に関する講演の機会も多い。「男性にかかるジェンダーバイアスや社会の圧力、必要な性教育などについてお話しています」



湘南合同法律事務所

神奈川県藤沢市藤沢551-1 日進ビル7階
TEL:0466-25-3125(法律相談予約)
<https://shonan-godo.net/lawyer/>

●弁護士ドットコム
<https://www.bengo.4.com>